

シルバー 安全だより

第71号

令和7年8月1日

公益社団法人
日向市シルバー人材センター
安全・適正就業委員会



山元 隆

草刈作業に防護ネットは必須です！

草刈作業には防護ネットが必須です。今年から、防護ネット無しで発生した事故の場合は保険が適用されなくなりました。その場合数万円～数十万円にも及ぶ賠償費用は個人負担となってしまいます。草刈作業時には必ず防護ネットを設置しましょう。まだ防護ネットが無い方は、シルバーにネット部分はありますので、枠を作って張ってください。枠の作り方の相談にもお答えします。また、誰かのものを借りるのではなく、一人一張りのマイネットを準備しましょう。もう一度言います。防護ネット無しには草刈はできません。草刈作業には防護ネットが必須です。

防災について



安全・適正就業委員長
仙波 忠男

大雨特別警報や南海トラフ地震、災害はいつ起きてもおかしくありません。最近では、鹿児島県トカラ列島の群発地震や新燃岳の火山活動の活発化、アメリカのアラスカ州で起きた大雨による洪水などあちこちで自然が猛威を振っています。さて、私たちの身近で災害が起きた場合、防災グッズは準備していますか。毎日枕元に置いていますか。どこに逃げるか決めていますか。その情報を家族と共有していますか。必要だと分かっているけどなんとなくお

っくうだし、今すぐでなくてもなんとか過ごしているから大丈夫、と考えていませんか。ただ災害は急に来ます。ですので、ぜひ今のうちに準備しましょう。持ち出し用のリュックに水、そのまま食べることができる食品、携帯トイレ(命が助かった後、次の緊急事態はトイレだそうです)アルミシート(100均でも売ってます)等、そして私たちの年代にとって忘れてはいけないのが、常用薬!! 皆さん何らかの薬を常用していることが多いので忘れずに準備しましょう。まわりが何かと騒がしい今、リュックに何を入れるか考えることも大事な防災です。

災害要因を甘く見ないで！



安全就業推進員
大田 寛

会員がセンターから提供された仕事をする上で、その仕事を完成あるいは終了するまでの間、最も留意しなければならないことは、「責任をもって仕事を遂行すること」とともに、「安全に就業すること」であります。このことは誰でも認識しているところではありますが、具体的にはどうすべきかを、会員一人一人が考えて確実に実行しなければなりません。安全就業に関して、安全就業基準や色々な注意事項、取り決め事項がある中で時として「またか」というマンネリ化に陥ることがあるのではないのでしょうか? 事故防止の重要ポイントは、「会員自身の自己管理」が不可欠だと思います。

事故要因には気付いていたが、「このくらい」とか「そのうちに」という考えのもとに、要因の排除が延ばし延ばしにされていたことにより、事故が繰り返されているのではないのでしょうか。「このくらい」「あとわずかだから」「今まで何もなくあったから」は安全就業には禁句と考え、「安全はすべてに優先する」を合言葉に日々の就業に取り組んでいきましょう。

一日の作業のスタートは、メンバー全員で集合してミーティングから始まりますが、その際「日向市シルバー人材センタースローガン」を必ず唱和することを、習慣付けてください。

日向市シルバー人材センタースローガン

①.自己管理の徹底で事故予防しよう ②.チームワークで明るく楽しく安全作業 ③.仕事にかかれば真剣勝負! 「だろう・これ位」の油断なく

令和7年度傷害事故、物損事故発生状況
《物損事故》《傷害事故》 令和7年7月25日 現在

現在0件です!!

「スズメバチに気を付けましょう」

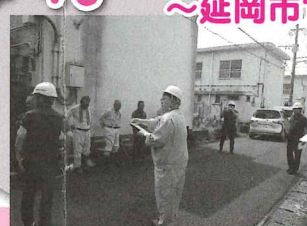
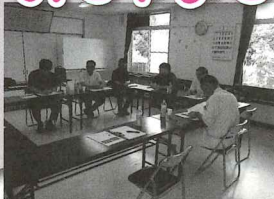


委員
田中 英雄

夏から秋にかけて気を付けなければならないのがスズメバチですが、今年は例年より早く動きが活発になっています。ハチの巣が各所に作られ、それに伴いハチに刺されるなどの被害が既に多く出ています。

ハチは色が黒いものやひらひらしたものの、そして汗や食べ物などの強い匂いに寄ってくる傾向があります。屋外での作業時の服装は出来るだけ明るいものにして、つばが広い帽子や長そでの服、手袋や長ズボンを着用する事で、頭髪や肌の露出を極力抑えるようにしましょう。併せてハチ除けのスプレーやハッカ油などをふりまくのも良いでしょう。また、作業時には作業場所の周辺に蜂の巣等が無いかしっかり確認するようにして、ハチに刺されないよう気を付けて作業に取り組んで下さい。

おじゃまします。パトロールに同行しました。 ～延岡市センター編～ 7/16



委員
甲斐 和子

暑熱順化

年々、夏の暑さが増していますが、人間の体には暑熱順化という暑さに順応する力が備わっているようで、日頃の運動、生活習慣の工夫で高められるそうです。

- ①朝夕の涼しいうちの軽い運動…最初は10分位からのウォーキングを週2～3日程度でもOK
ポイントは少し汗ばむ位の運動を無理なく続ける事
- ②お風呂で体をならす…ぬるめのお湯(38～40度)に10～15分つかる←運動の時間が取れない人におすすめ



標語・川柳大募集!
～8月末まで

- ③こまめな水分補給の習慣化…喉が渇く前にコップ1杯(200ml)をこまめにとる
- ④バランスの良い食事…ビタミンB群、ビタミンC、カリウム、タンパク質の栄養素を特に意識してとる。冷たい物に偏らず温かいスープや味噌汁も取り入れる。
- ⑤睡眠で体力の回復…エアコンを適切に使用する(室温26～28度、湿度50～60%)
- ⑥冷房に頼り過ぎない…熱中症には必要不可欠ですが冷やし過ぎると体温調節機能が衰えてしまい暑熱順化の妨げになりますので適度な温度(温度差を5度以内)で使用しましょう。扇風機やサーキュレーターを併用するのも効果的です。

夏の暑さに体を順応させるには急激な変化ではなく日々のちょっとした習慣がものをいいます。小さな習慣が夏の体を作るほまだまだ暑い日が続きます。今からでも無理はせず、少しずつ暑熱順化をすすめてみてはいかがでしょうか?

そして、生活にも仕事にも元気に取り組んでいきたいですね。

今年も安全標語・川柳を募集しています。今なら、安全標語や川柳を応募するともちろん粗品プレゼント(お一人様1点限り)なくなり次第終了になります。たくさんのご応募お待ちしております。

「熱中症のサイン」



委員
佐藤 幸栄

今年は梅雨明けが早く、明けたと同時に急激な猛暑に見舞われています。それに伴い作業中に体調を崩してしまう方も多かったと思います。

熱中症の初期症状として、「手足がつる」「立ちくらみやめまいがする」「吐き気をもよおす」「汗が出なかったり止まらなかったりする」などの自覚症状に加えて、「異様にイライラしている」「フラフラしている」「呼びかけに反応しない」「ぼーっとしている」などの第三者から見える症状が挙げられます。「何かいつもと違う」と感じたら、真っ先に熱中症を疑い、水分補給や休憩を取らせるなどの対策を取って下さい。また、何となく体調がおかしかったりすぐに疲れてしまうような時でも、無理をせずこまめに休息を取るようにしましょう。

作業される皆さんには、これまで以上にしっかりと連携をとって熱中症対策に取り組んで頂きたいと思います。

GOGO!!
安全くん

